

2017年10月25日

お問い合わせ先:
 CBRE
 マーケティング & コミュニケーション
 03-5288-9283

CBRE が特別レポートを発表

「オフィス構築の新潮流: アクティビティーベース型ワークプレイス (ABW)」 今後のスタンダードはより働き手を重視したオフィス環境

CBRE (日本本社: 東京都千代田区丸の内) は本日、特別レポート「オフィス構築の新潮流: アクティビティーベース型ワークプレイス (ABW) – CBRE 東京本社を事例として」を発表しました。

当レポートは、ABW を導入した CBRE 東京本社で働く従業員を対象に実施した働き方に関する調査の結果をもとに、ABW が実際どのように従業員の働き方や意識を変えたかを考察したものです。

- ABWはフリーアドレス型のワークプレイスの発展形で、働く場所の選択肢は10~15ヶ所用意されています。コスト効率や組織のフレキシビリティに加え、個人の働き方の自由度も高めるオフィス環境=ワークプレイスといえます。
- CBRE東京本社の調査結果からは、ABWの導入後、従業員の働き方が変化するとともに、健康観=ウェルネスに対する意識も向上したことが窺えます。また、新入社員を対象に行った調査では、ワークプレイスが会社を決める際の重要なファクターとなっていることが確認されています。
- 主な調査結果

| | ABW 導入直後 | 導入 3年後 |
|----------------------------------|-------------|-----------|
| 他部署とのコラボレーションの機会が増えた | — | 70% |
| 固定席型のオフィス環境に比べて自分の生産性が向上したと感じる | 76% | 84% |
| 現在のオフィス環境は採用活動に有効なツールである | 79% | 91% |
| オフィス環境は入社を決めた理由の一つである | 20%* | 80% |
| 現在のオフィスは、自分の健康やハピネスに良い影響をもたらしている | 59% | 84% |

*ABW導入前

- 人材確保のための競争が厳しさを増している中、働き手の多くが一日の大半を過ごすワークプレイスをどう構築するかは、企業の今後の成長そのものを左右するでしょう。ABWを初めとする、働き手のフレキシビリティを高めるワークプレイスは、今後のオフィスのスタンダードになっていくと考えられます。

詳しくは、弊社ホームページの[ビューポイント・スペシャルレポートセクション](#)から、「オフィス構築の新潮流: アクティビティーベース型ワークプレイス (ABW)」をご覧ください。

CBRE について

CBRE グループ(NYSE:CBG)は、「フォーチュン 500」や「S&P 500」にランクされ、ロサンゼルスを本拠とする世界最大の事業用不動産サービスおよび投資顧問会社です(2016年の売上ベース)。全世界で75,000人を超える従業員、約450カ所以上の拠点(系列会社および提携先は除く)を有し、投資家、オキュパイヤーに対し、幅広いサービスを提供しています。不動産売買・賃貸借の取引業務、プロパティマネジメント、ファシリティマネジメント、プロジェクトマネジメント、事業用不動産ローン、不動産鑑定評価、不動産開発サービス、不動産投資マネジメント、戦略的コンサルティングを主要業務としています。詳細につきましては日本国内ホームページ www.cbre.co.jp をご覧ください。

Twitter アカウント: [@cbrejapan](https://twitter.com/cbrejapan)

※免責事項: 本文書は貴社の責任と判断で利用いただくものであり、弊社は、貴社又は第三者が本文書に基づいて行われた検討、判断、意思決定及びその結果について法律構成・請求原因の如何を問わず一切の責任を負わないものとします。